

天理市議会における手話通訳の導入状況について

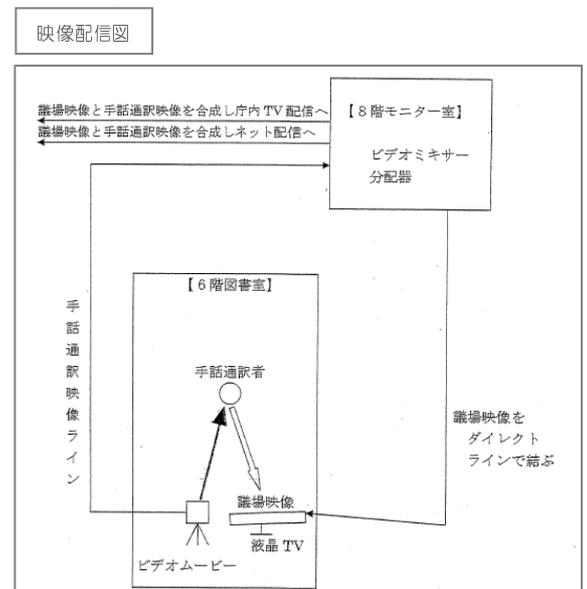
【H28.2.17調査】

(1) 経緯

- ① H21. 9 天理市議会運営委員会で議長が手話通訳導入を提案
H21. 6 定例会で議会基本条例を制定したことを機に、本会議で手話通訳の導入を提案
- ② H21.12 本会議場の演壇横で手話通訳を試行
- ③ H22. 9 別室(図書室)で手話通訳を行う方式に変更

(2) 現在の実施方法

- ① 別室(図書室)で手話撮影を行い、それを本会議中継の映像に挿入する方法で実施
傍聴席では、大型スクリーン2台で放映



- ② 手話通訳の派遣は、一般社団法人奈良県聴覚障害者協会に委託
派遣人数 2～3人/日
費用 手話通訳者通訳料、旅費
- ③ インターネット配信のみで、テレビ中継は実施していない。

(3) 経費

- ① 機器等整備費 714千円 (H22) =イニシャルコスト
ビデオカメラ、映像混合器、モニタ等
- ② 手話通訳経費 540千円 (H26実績額) =ランニングコスト

(4) その他

- ・手話通訳者に事前に読み原稿を提供している。
- ・本会議では、ゆっくりと話すようお願いをしている。